

NO.	質問内容	回答内容
Q1	<p>＜脚部寸法について：職種連絡会での質問＞</p> <p>脚部の寸法について。副立面図の脚先570と三面図やA-A断面図にある360はどちらの寸法が優先か。</p>	<p>副立面図の570を優先し、甲板の外法は脚の内法寸法にあわせて製作してください。つまり360は「およそ360」「(360)」と考えてください。関連する寸法として、脚部の脚先は副立面図に570、三面図ならびに各種断面図に(415)という寸法が記されていますが、(415)は「およそ415」と考えてください。</p>
Q2	<p>＜丁番について＞</p> <p>丁番が箱に収まる部分は丁番の軸の芯までなのか芯の部分は全部出て平らのところまででいいのか。</p>	<p>丁番は「軸1本（軸全部）」を箱外に出す仕様で取り付けてください。</p>
Q3	<p>＜加工について＞</p> <p>留めの機械加工を横切りでする際、薄い当て材を置いて付け縁のバリを出さないように加工してほしいか。</p>	<p>バリ止めの材を置くことは許可しますが、その場合の当て材は、選手が持ち込んだ材ではなく、支給された箱部材を切り回した時に出る端材を利用してください。</p>
Q4	<p>＜持参工具について＞</p> <p>道具の個数制限は同じ物3個までとなっていますが、筋けひきとノミけひきは毛引としてまとめたの3個なのか、ノミけひきで3個、筋けひき3個でそれぞれでいいのか。</p>	<p>毛引き類は、種類を問わず「最大3個まで」としてください。</p>
Q5	<p>引き出し前板の仕上がり寸法99mmに対して支給される材の幅が102mmになっていますが、競技会場にある横切り丸のこ盤や昇降丸のこ盤で巾割りすることができますか。または持参工具のスライド丸のこで割るか鉋で削るということでしょうか。あるいは寸法の間違いでしょうか。</p>	<p>引き出し前板はカンナ（手加工）で幅決めしてください。</p>
Q6	<p>引き出し側板の仕上がり寸法が明記されていませんが、支給材巾95mmを仕上げするという事でよろしいですか。</p>	<p>引き出し側板は上端を前板より4ミリ下げてください。修正図面をあわせて公表します。</p>
Q7	<p>箱部の天板、地板、側板の留切りをする時に、横切り丸のこ盤の定規に端材を貼り付けてバリ止めにしてもいいですか。</p>	<p>定規に両面テープを使用して「貼り付ける」ことは認めません。</p>